

(様式5)

# 調査報告書

**外部評価項目構成**

	項目数
・理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

訪問調査日	20 年 3 月 20 日
調査実施の時間	開始 10 時 0 分 ~ 終了 15 時 30 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム オリーブの木 ( 奈良県 )
評価調査員の氏名	氏 名 米田ひろみ
	氏 名 林 雅樹
事業所側対応者	職 名 管理者
	氏 名 尾崎三紀子
ヒアリングを行った職員数 ( 1 ) 人	

**記入方法**

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。
- 「取り組みを期待したい内容」欄は、「取り組みを期待したい項目」でつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入してください。

**項目番号について**

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

**用語について**

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 調査報告概要表

平成 20 年 3 月 31 日

【評価実施概要】

事業所番号	2970300485
法人名	医療法人おざきクリニック
事業所名	グループホームオリーブの木
所在地	奈良県 大和郡山市九条町1311-1 (電話) 0743-55-5510
評価機関名	特定非営利活動法人カロア
所在地	大阪市大阪市天王寺区堀越町1番1号四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成20年3月20日

【情報提供票より】(20年2月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	13 人 常勤 6 人 非常勤 7 人 常勤換算 3.1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての 2 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	
敷金	有( ) 円	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(250,000 円)	有りの場合	有
	無	償却の有無	無
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要 (2月24日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1	要介護2	1
要介護3	4	要介護4	3
要介護5		要支援2	
年齢	平均 82 歳	最低 63 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	郡山青鑿病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

駅より徒歩1分と非常に交通の便が良い立地条件であり、診療所を併設されており24時間対応可能で地域での密着度が高い。職員は利用者の方に寄り添った温かみのある家庭的な雰囲気の中、家族同様の暮らしを支援されている。あるお一人の利用者の方、お元気な頃から看取りを希望されており、その願いをホーム内で通夜、告別式を利用者の方と職員でされ見送られた。家族の一員が亡くなれば動揺されないかと心配されたが、それぞれの思いで受け入れられていたのか、自然な形で送ることが出来たと涙を流され話して下さった管理者の方の思いがこのホームの温かさ、ぬくもりを象徴してくれている。のんびり、ゆったり、仲良く、楽しく、理念に沿った支援がなされていること、利用者の表情で汲み取れた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 昨年の外部評価の改善課題は運営推進会議で取り上げ、意見を頂き改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価の目的は職員間で共有されており、評価したものを話し合っまとめている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議では、自己、外部評価の改善課題への取り組みの状況や、今抱えている問題等話し合いメンバーから出された意見は職員間で話し合いサービスの向上に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 御意見箱や面談によって、苦情や不満を聞き取りどんな小さなことでも希望に沿えるように対応している。又、家族さんとの関わりを大切にされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会活動に参加し、ホームでの夏祭り、クリスマス会には地域の住民が多数参加して下さり交流を深めている。利用者の方も地域の方が多く友人などが訪問してくださったりもする。一人で出かけられたりしたときなど、声を掛けてくれホームに連絡を下さるなど地域との関わりが深く根着いて連携が取れてきている。

## 2. 調査報告書

主任調査員氏名 米田ひろみ

同行調査員氏名 林 雅樹

外部評価	自己評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の方に安らぐ居場所を提供でき、その人らしさを損なわず最後まで社会性を高めていける独自の、のんびり、ゆったり、仲良く、楽しくの理念がある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念がすぐ目につく玄関、共同室の壁面に明示しており、全職員が周知され日常生活の場で理念に沿った支援がなされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	園内行事に地域の方が多数参加されたり、地域の行事にも積極的に参加されるなど交流を持たれている。利用者も地域の方が多く、友人などの訪問もみられる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員、評価の目的を理解し具体的な改善に取り組み、前回の外部評価での課題は職員間で話し合い改善されている。		

外部評価	自己評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会長、民生委員、家族の代表が参加され開かれている。会議のメンバーからいただいた意見、要望を職員間で話し合いサービスの向上に努めている。</p>		<p>運営推進会議のメンバーの確保と開催回数が増えることに期待する。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>生活保護の利用者の方が入居されており市町村担当者との関わりが深く、相談されたりすることが多くサービスの質の向上につながられている。</p>		
<p><b>4 . 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、月次報告書で利用者の方の生活の様子報告されたり、年4回、職員が手作りでホーム便りを作成し四季の行事の様子なども伝えられている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年2回、大きな行事の時に家族の方に参加して頂き、その場で家族が話せる機会を作っている。又御意見箱や面談によって苦情や不満を聞き取りどんな小さな事でも家族の希望に沿えるように努めている。</p>		<p>今後、ご家族同士が集まり意見交換できる場所を提供されることに期待する。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>信頼関係をなくさない為にも職員の異動は少ないが、やむ負えない場合は自然な流れの中で居る職員間で、なるべく馴染みの関係が保てるように配慮されている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<b>5 . 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が外部研修に参加し全職員に伝達、又法人内で勉強会が行われたり、採用時にも研修が行われている。		今後、職員の外部研修の参加が期待できる。
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の老健施設、ケアハウスとの交流はあるようだが、現在は同業者との交流の機会を設けていない。		今後、同業者との相互訪問、勉強会などを持たれることに期待する。
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	診療所が併設されており、診療所通院の時から顔見知りになり、グループホームにも訪問されておられる。家族と相談しながら本人が安心し納得した上でサービスを利用されている。		
<b>2 . 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	習字、ちぎり絵など利用者の方の趣味とともに学んだり、日常生活の中で利用者の方と職員がお互いに支え合って生活されている。		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1．一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で会話、表情などで汲み取り、常に本人の意向や希望を把握するように努めている。困難な場合は家族の方にも相談されたりしている。</p>		
<p><b>2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の方、家族の方の意向、願いを反映し、また職員間でも話し合い個別の介護計画が立てられ、家族の同意を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人、家族の要望を考慮しつつ、3ヶ月毎に見直され、状況に変化が生じた場合はそのつど本人、家族、職員間で検討し新たな見直しがされている。</p>		
<p><b>3．多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>診療所を併設されており、医療に関して要望があれば24時間体制で対応されており利用者、家族とも安心して頂けるように支援されている。時には人工透析をされている入居者の方の移送サービスも行われている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<b>4 . 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<b>かかりつけ医の受診支援</b>  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	診療所を併設されておられ、ほとんどの方のかかりつけ医になっておられるが、要望があれば他機関への紹介、病診連携の支援されている。		
19	47	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い時期から、本人、家族、職員の話し合いが持たれ施設ができる限りの支援されている。調査の二日前にとターミナル期に入られていた利用者の方が永眠され施設の中でお通夜、告別式が執り行われ入居者の方全員でお見送りされた。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 . その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>( 1 ) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<b>プライバシーの確保の徹底</b>  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	調査中、職員の利用者さんへの対応、声掛けなど柔軟でプライバシーを損なうような対応は見受けられず明るく、丁寧で優しい雰囲気で見受けられた。		
21	52	<b>日々のその人らしい暮らし</b>  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に何をしても利用者の方の同意を得て、生活のリズムや意志を尊重しながら個別性のある支援をされている。行事や献立など、利用者の方の希望を取り入れている。		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方の希望を取り入れ、近くスーパーに買い物に行かれたり、献立を決め、できる人、できない人はいるけれどもそれぞれの役割を果たされている。園内菜園で採れた野菜なども使い調理も共同で行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴され、入浴されない日は足浴なども行っている。利用者の方の希望に応じた対応もされ、個別入浴にて羞恥心等にも配慮されている。入浴を拒む人もいるが職員の努力で克服されている。		
( 3 ) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に合った役割を持っている。食器洗いに、洗濯物のたたみ、掃除、園芸など個別に役割を持って頂き生活に張りを持って過ごせるように支援されている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に買い物や散歩に出かけたり、季節に応じて花見、さつまいも堀、地域のケアハウスに出かけたり、外食などとさまざまな外出支援を行っている。外出支援で利用者の方のとてもいい表情されているのがホーム内に掲示されている写真で伺うことができた。		
( 4 ) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、居室、玄関ともに鍵をかけず解放され、自由な暮らしを支援されているのが伺え、近所の方にも理解を求め、声掛けや、連絡してもらえる関係を築いている。		



外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の対応マニュアルがあり、年1回避難訓練を行っている。自治会や地域の人々にも協力を得られている。</p>		<p>日常生活の中でも、利用者の方と共に避難経路などの確認に取り組まれることも期待する。</p>
<p>( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士に献立の内容をチェックしてもらっている。食事や水分の摂取状況は毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。</p>		
<p>2 . その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>( 1 ) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先には、草花を植えて、利用者の方や来訪者に親しみのある雰囲気作りをされている。居間兼食堂には食事用テーブル、テレビソファなど使いよく配慮されており利用者の手作りの作品が飾られるなど生活感があり、又昼食時には童謡が流され楽しく食事できるように配慮されるなど居心地よさを感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と話し合い、家で過ごされていた状態に近い居室選びや、使い慣れた馴染みのある古いものや利用者の方の好みの物があり居心地良さに配慮されている。(仏壇を持って来られている方もいる)</p>		